

災害と文化財保存の 歴史地理

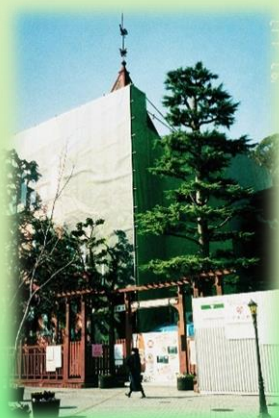
2016年、阪神・淡路大震災から21年、東日本大震災から5年を迎えます。神戸大学で学ぶ学生たちも、阪神・淡路大震災を直接知らない世代が増えてきました。

神戸大学地理学教室では“災害と文化財保存”をテーマに、災害と人間関係、災害の履歴、まちづくりと文化財について取り上げ、災害と私たちの生活や文化の側面との関わりを探りました。

阪神・淡路大震災の経験をいかに受け継ぐか、という神戸固有の課題にも向き合う機会となればと願っています。



2016 5.9 (月) ⇒ 6.30 (木)



会 場：神戸大学社会科学系図書館 2階展示コーナー 入 場：無料
神戸大学六甲台キャンパス 〒657-8501 兵庫県神戸市灘区六甲台町 1-1

時 間：月～金曜日8:45～21:30 土・日曜日：10:00～19:00

※ただし 5.15(日)と 6.19(日)は休館

主 催：神戸大学人文学研究科・文学部地理学教室

協 力：神戸大学附属図書館、海事博物館

写真 風見鶏の館（上 2015年、下 1997年）

